

12月18日FOMC終了後の米国株急落について

米国企業の成長期待を踏まえた冷静な姿勢で臨みたい

2024年12月19日

今後の利下げペース鈍化見通しを嫌気した金利急騰で株価急落

12月18日（現地）の米国株式市場は全面安となり、S&P500は前日比▲2.95%の5,872に急落、NYダウは10日続落となりました。同日終了のFOMCではFF金利は市場予想通り0.25%ptの引き下げが決定されましたが、波乱を呼んだのがFOMC参加者のFF金利見通しです。25年内の利下げ回数は0.25%pt換算で2回となり、前回9月予想（25年内4回）から半減しました。金利見通し引上げの背景には、堅調な米国経済や、想定より根強いインフレ、更にはトランプ次期政権の政策を見極めたいとのFRBの思惑があると思われます。金利見通し引上げ自体はある程度織り込まれていたものの、市場ではFOMCの結果はタカ派と受け止められ、金利急騰と高PERハイテク株を中心とした株価急落の反応となりました。

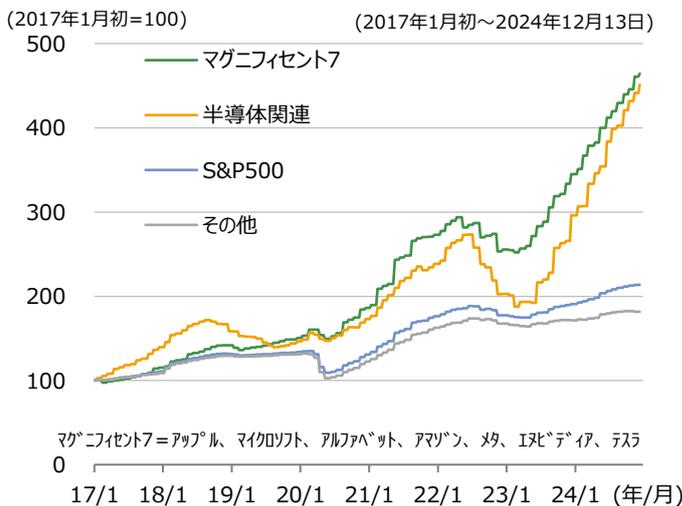
11月5日の米大統領選以降、トランプ氏の経済政策と利下げへの期待から、S&P500はたびたび史上最高値を更新しましたが、今回のFOMCは市場参加者に冷や水を浴びせる形となりました。しかし、①利下げペース鈍化自体は織り込み済みであったこと、②金利見通し引上げは米国経済が予想以上に堅調であることの裏返しであること、③米金利が現水準で高止まりしたとしても、米企業業績のけん引役であるAI向け半導体やAI関連サービスの成長が損なわれる可能性は低いこと、以上三点から過度な悲観は不要と思われます。米国株については、引き続き中期的利益成長を踏まえた投資スタンスで臨むべきと考えています。

図表①・FOMC参加者による経済見通し

(単位：%)		2024	2025	2026	2027	長期
実質GDP 成長率	2024/12	2.5	2.1	2.0	1.9	1.8
	2024/9	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8
失業率	2024/12	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2
	2024/9	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
PCE (インフレ)	2024/12	2.4	2.5	2.1	2.0	2.0
	2024/9	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0
コアPCE (インフレ)	2024/12	2.8	2.5	2.2	2.0	2.0
	2024/9	2.6	2.2	2.0	2.0	2.0
FF金利	2024/12	4.4	3.9	3.4	3.1	3.0
	2024/9	4.4	3.4	2.9	2.9	2.9

※PCE、PCEコア、実質GDP成長率は10-12月期の前年同期比
失業率は10-12月期平均。FF金利は年末時点
(出所) FRBより大和アセット作成

図表②・マグニフィセント7・半導体関連株の予想純利益



※純利益は12カ月先予想。予想はLSEG。「その他」はM7及び半導体関連株を除くS&P500構成銘柄
(出所) LSEGより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management